

公式観光ガイド **2026**

ドージェ宮殿

ヴェネツィア · ~から 35€

https://palazzoducale.visit-tickets.com/ja/・優先入場チケット & 公式料金



歴史 & エクスペリエンス

起源と歴史

共和国の心臓：権力と芸術の交差点

GOOGLE 4.7 ★★★★★ 38 427 レビュー

TIQETS 4.6 ★★★★★ 4 980 レビュー

ドージェ宮殿は単なる豪華な邸宅ではなく、ヴェネツィア共和国の政治中枢として機能した生きた機関です。1340年の建設開始以来、この建物は立法・行政・司法の三権を一身に集め、地中海全域で揺るぎない権威を保ってきました。外観のベネチアン・ゴシック様式の軽やかさとは裏腹に、内部にはルネサンス期の重厚な装飾が施され、共和国がより中央集権的な権力構造へと移行していく過程を象徴しています。石造りのアーケードは海からの風を通し、開放感を演出しますが、その背後では厳格な官僚機構が日夜動いていました。

宮殿の歴史は火災と再生のサイクルによって形作られてきました。**1577**年の大火災は宮殿の大部分を灰燼に帰し、ティツィアーノやジョヴァンニ・ベッリーニによる貴重なフレスコ画を失わせました。しかし、この惨事は芸術的再建の契機となり、ティントレットやヴェロネーゼといった巨匠たちが招かれました。彼らは焼失した空間を埋めるため、壮大な神話的・宗教的テーマを描き出し、宮殿を単なる行政施設から「天国への入口」という象徴的な存在へと昇華させました。この復興は、共和国の回復力と芸術に対する投資意欲を示す証左です。

権力の影の部分として、十人評議会の存在は不可欠です。1310年に設立されたこの秘密警察組織は、スパイ活動、検閲、道徳問題を取り扱い、メンバーは死罪という代償で絶対的な沈黙を誓いました。鉛の屋根の下にある牢獄（ピオンビ）では、収集された情報が恐ろしい効率で処理され、共和国の安定を維持しました。カザーノバを含む多くの著名人がここに収容されましたが、脱出は極めて困難でした。この監視システムこそが、ヴェネツィアが数世紀にわたり独立を保てた理由の一つなのです。

1797年、ナポレオンの進軍により共和国は滅亡しましたが、宮殿はその役割を終えるまで最後の瞬間まで機能しました。最後のドージェ、ルドヴィコ・マニンは儀式用のローブの下に隠された短剣を持ち、伝統を守りながら退位しました。この隠された武器の慣習は、常に暗殺の脅威にさらされていた指導者の現実を物語っています。今日、宮殿は博物館として公開されていますが、壁に残る痕跡は、光栄と恐怖が同居する複雑な歴史を今も語っています。

体験

サン・マルコ広場から宮殿の入り口へ足を踏み入れると、まず迎えるのは大理石の床と高い天井が織りなす圧倒的な空間です。自然光が差し込む中庭からは、青い空と聖マルコ大聖堂の金色のドームが望め、ヴェネツィアの美意識の頂点を感じさせます。訪れる者は、観光客であることを忘れ、かつてここで行われた政治的陰謀や審判の重圧に包まれるような錯覚に陥ります。静寂の中で、石の冷たさと歴史的な緊張感が皮膚に伝わるでしょう。

内部を進むにつれて、色彩豊かなフレスコ画と金箔の輝きが視界を埋め尽くします。ティントレットの歪んだ透視図法は、床から見ることで初めて真の意味で機能し、天界への昇華体験を提供します。ガイドなしでは理解できないこれらの芸術的工夫は、単なる装飾ではなく、権力を正当化するためのプロパガンダ装置でした。訪問者は、絵画の中に描かれた英雄たちと共に、ヴェネツィアの栄光と傲慢さを同時に味わうことになります。



訪問の準備

実用的な情報

住所
サン・マルコ広場·バポーレット リアルト または サンタ・ルチア （1号線）下車後、徒歩10〜15分。

営業時間
夏季（5月〜9月）の木曜日/金曜日は23時まで営業。12月25日と1月1日は休業。季節ごとの営業時間を確認してください。

料金
年齢に応じて子供無料（バリエーションを確認）。{promo}。

所要時間
主要な部屋の標準的な見学には1時間30分から2時間を見込んでください。刑務所オプションまたはパノラマテラスを含める場合は、さらに30分を追加してください。

写真
メインホールではフラッシュなしでの撮影が許可されています。保護対象の作品やプライベートツアーについては、個別の看板をご確認ください。

一般公開
全年齢層に対応していますが、牢獄コースには暗い歴史的場景が含まれます。歴史とアート愛好家に最適です。

アクセス方法

アクセス & 交通手段

🗺️ 自動車

トレヴィゾ中央駅 (90 min) · Istrana (112 min)

🚲 **Vélo**

Treviso Centrale (123 min) · Istrana (153 min)

LOCALISATION

Où se trouve ドージェ宮殿 ?



📍 San Marco 1 — 30124 ヴェネツィア

🌐 45°26.022′ N, 12°20.423′ E



組織

階層別：地上から天国へ

Niveau 0 (Rez-de-chaussée)

地下および1階部分には、かつての裁判所や記録室が配置されていました。現在はコッレール美術館の一部として展示されており、都市の防衛模型や歴史的資料が見られます。また、嘆きの橋につながる通路もここからアクセスでき、牢獄への入口となります。石畳の冷たい感触と狭い廊下が、司法の厳粛さを伝えます。

Niveau 2

宮殿の核心である大評議会議事堂がこの階にあります。巨大な空間にはティツィアーノの『パラダイス』やヴェロネーゼのフレスコ画が飾られ、共和国の最高意思決定が行われました。さらに、ドージェの私室や十人評議会の部屋もあり、権力者の日常が再現されています。階段を上るごとに、空間の豪華さと政治的重要性が増していきます。

Niveau 5 (Terrasse)

屋上テラスからは、サン・マルコ寺院とグラン・カーナルのパノラマビューが広がります。通常、混雑する広場から離れており、ヴェネツィアの都市計画全体を俯瞰できる理想的なスポットです。夕日を見ると、水都の光景が金色に染まり、写真撮影には最適な条件になります。ここでは、共和国がラグーンを支配していた時代の規模を実感できます。

アクセシビリティ

♿ 車椅子アクセス

階段のため、上層階へのアクセスは制限されています。

👨‍👩‍👧 ファミリー向け

保護者同伴の子ども連れ家族に適しています。

🎧 オーディオガイド

フランス語, 英語, スペイン語



必見スポット

選択

必見：天才画家たちの絶頂期作品

01 ヤコポ・ティントレット 大評議会議事堂

最後の審判

この作品は床から見ることを想定して設計された強制遠近法の傑作です。正面から見ると歪んで見えますが、特定の視点に立つと、天使たちが立体的に飛び出してくるような錯覚を起こします。ティントレットは、有限の空間で無限の天界を表現しようとしたのです。

> 💡制作当時、ティントレットは高齢でしたが、脚立の上で作業し続け、完成直後に死去しました。彼の情熱がキャンバスに刻まれています。

02 ティツィアーノ 大評議会議事堂

パラダイス

ルネサンス最大のキャンバスであり、**60**メートル以上の幅を持つ巨大な絵画です。当初は教会のために制作されましたが、火災後に宮殿に移設されました。キリスト、聖母マリア、聖人たちに加え、ヴェネツィアの貴族や詩人までもが天国に描かれている点は、共和国の自信の表れです。

> 💡ティツィアーノはこの作品を完成させる前に亡くなり、弟子たちが仕上げました。そのため、筆致に若干の違いが見られます。

03 アントニオ・コンティーノ 外部/接続部

嘆きの橋

完全閉鎖型の石造りの橋で、裁判所と牢獄をつなぎます。**1600**年建造のこの橋は、浪漫チックな伝説とは異なり、非常に不透明で暗い空間です。囚人は判決後、ここを通って運河への視界さえ遮られる牢房へ送られました。詩的な名前とは裏腹に、絶望のシンボルです。

> 💡カザーノバはこの橋を通りましたが、彼は脱出に成功した唯一の囚人です。他の多くはここで人生が終わりました。

04 複数の画家 2階

十人評議会の部屋

共和国で最も強力かつ恐れていた機関の本部です。秘密警察としての機能を果たし、スパイ活動や検閲を行いました。壁には厳粛な肖像画や象徴的な彫刻が飾られ、権力の重圧を感じさせます。メンバーは沈黙を誓い、情報漏洩は死罪でした。

> 💡 この部屋では、夜間に重要な審理が行われ、照明は最小限に抑えられていたと言われています。

05 パオロ・ヴェロネーゼら 2階

ドージェの私室

ドージェの居住空間であり、公式行事が行われる場所でもありました。豪華な内装と緻密なフレスコ画が特徴で、支配者の権威を強調しています。家具や調度品は当時の高級品であり、ヴェネツィアの豊かさを示しています。

> 💡 ドージェは儀式の際、隠れた短剣を帯びていたことが確認されています。これは安全対策としても機能しました。

06 不明 ファサード

翼のあるライオンの像

宮殿の外壁を飾る石造りのライオンは、聖マルコを表し、海上における共和国の力を象徴しています。開かれた本を持ち、「Pax tibi Marce, evangelista meus」と刻まれています。戦略的に配置され、訪れる者に畏敬の念を抱かせます。

> 💡 これらの像は、ヴェネツィアの植民地や交易路沿いにも設置され、帝国の広がりを見せつけました。

07 建築家集団 エントランス

巨人の階段

宮殿の主要な入り口であり、両脇に火星と海王星の巨大な像が立っています。戦争と海洋、つまりヴェネツィアの二つの柱を象徴しています。階段を上る際、訪れる者は守護神の守りを受けるような気分になります。

> 💡 これらの像は、元々別の場所から移設されたものであり、その由来には諸説あります。

08 N/A 屋根裏

鉛の牢獄

鉛の屋根で覆われたため高温となる牢獄群です。夏には**50℃**以上になることもあり、過酷な環境でした。カザーノバを含む多くの囚人がここで過ごし、脱出は極めて困難でした。湿度と熱が身体を蝕みます。

> 💡 カザーノバは、隣室の神父の助けを得て、着ぐるみを着て脱出しました。これは唯一の成功例です。

アドバイス

戦略的見学：混雑を避ける秘訣

TIMING

ハイシーズンでは10時30分頃から行列が急増します。9時の開館の15分前に到着し、優先入場口を利用すれば、大勢の観光客グループが来る前に主要な部屋を楽しめます。

BILLET

「牢獄」オプションを追加したチケットを購入してください。標準チケットのみだと、ため息の橋やカザーノバの牢房を見逃すことになります。予約時に必ず確認しましょう。

PARCOURS

大評議会議事堂から始め、その後で牢獄コースに進むのがおすすめです。体力を使い切らないよう、順番を逆にするのは避けてください。

PHOTO

ティントレットの『最後の審判』は、床から見て頭だけを上げるのではなく、壁の方へ進んで作品の深さを捉えてください。透視図法の効果を活かした写真が撮れます。

PAUSE

サン・マルコ広場は高価なので、隣接するカンポ・サンタ・マリア・フォルモサなどの路地で昼食を取るのがお勧めです。コストパフォーマンスと本格的な雰囲気が見つかります。

ENFANTS

子供たちはカザーノバの脱出物語に興味を示します。事前に簡単なストーリーを教えておくと、見学がより楽しくなります。ただし、牢獄内の暗さは苦手な子もいるので注意が必要です。

AUDIOGUIDE

大評議会議事堂は文脈なしでは空っぽに見えます。オーディオガイドまたはガイドツアーを利用して、座席の階層やフレスコ画の意味を理解することが不可欠です。

CONFORT

宮殿は2,000室の迷路で、完全な見学には最低1万歩を計算してください。ヒールや不安定なサンダルは避け、快適な靴を選んでください。



よくある質問

よくある質問

ドージェ宮殿のチケットは事前に予約する必要がありますか？

はい、絶対に必要です。特にハイシーズン（4月〜9月）には数時間の待ち行列を避け、入場を保証するために重要です。即時入場のためにスキップ・ザ・ラインチケットが推奨されます。訪問の数日前にオンラインで予約してください。

標準チケットと「シークレット」チケットの違いは何ですか？

標準チケットは自由にアクセス可能なメインホールをカバーしています。「シークレット」またはガイド付きチケットは、ドージェのアパートメントなど一般公開されていないエリアへのアクセスを提供します。これらはガイド同伴の特定予約が必要です。

チケットにはサン・マルコ大聖堂への入場が含まれていますか？

いいえ、ドージェ宮殿と大聖堂は別個の施設であり、チケットも別々です。サン・マルコ広場に隣接して位置していますが、独立して管理されています。ヴェネツィアの主要な歴史的遺跡ごとに別々のチケットを購入する必要があります。

予約のキャンセルまたは変更は可能ですか？

キャンセルポリシーは購入したチケットの種類によって異なります。オンライン予約時の条件をご確認ください。柔軟なオプションもありますが、返金不可のものもあります。不愉快な事態を避けるため、購入前に詳細を確認してください。

ドージェ宮殿の見学平均所要時間はどのくらいですか？

メインホールの標準的な自由見学には1時間30分〜2時間を計画してください。牢獄オプションまたはパノラマテラスを含める場合は30分を追加してください。ガイド付きツアーの場合はより多くの時間を確保してください。

ご存知ですか？

エピソード＆トリビア

建築的二重性の意味

外観のゴシック様式と内部のルネサンス様式の対比は、偶然ではありません。共和国の移行期を象徴しており、より豪華で中央集権的な権力時代への移行を示しています。この並置は、ヴェネツィアの政治的アイデンティティの変化を視覚化したものです。

ドージェの隠し武器

ドージェは儀式用のローブの下に短剣を隠していました。これは暗殺防止のための最後の手段でした。1797年、最後のドージェルドヴィコ・マニンはこの伝統を守り、ナポレオンとの面会時也にも持参しました。

十人評議会の沈黙

十人評議会のメンバーは、死罪という代償で絶対的な沈黙を誓いました。この厳格な規則により、共和国の秘密は守られ、敵対国からの情報流出を防ぎました。現代の秘密警察の原型と言えます。

1577年の火災の影響

火災は宮殿をほぼ破壊し、多くの名画を失わせました。しかし、これによりティントレットやヴェロネーゼらが招かれ、現在の壮麗な内装が生まれました。災難が芸術的革新をもたらした好例です。

博物館周辺

宮殿見学後は、すぐ隣にあるサン・マルコ大聖堂を訪れ、ビザンチン美術の神秘に触れるのがおすすめです。金色のモザイク画は、宮殿の世俗的な権力とは対照的な精神的権威を示しています。その後、カフェ・フロリアンで伝統的なエスプレッソを楽しみ、18世紀の知識人たちが集まった雰囲気を想像してください。観光客が多い広場から少し離れ、フォンダメンテ・ツァッテレ沿いを散策すれば、グラン・カーナルの夕暮れ時の魔法のような光景に出会えます。ここでアペリティボを飲みながら、一日の疲れを癒やすのがベネチアン流の知恵です。



ドージェ宮殿の訪問は、単なる美術館巡りではありません。それは権力の解剖学に触れる経験です。黄金色の壁画の向こう側で、誰かが密告し、誰かが処刑され、誰かが歴史を書き換えたのかを考えるとき、あなたはヴェネツィアの真の魂に触れます。この迷路のような宮殿を出るとき、あなたはただの観光客ではなく、共和国の秘密を知った共犯者のような気分になるでしょう。